

ハレとケ

長久手市文化の家情報誌

2015/10 ▶ 2016/03

Vol.
01





写真はすべて2002年、東京公演より 撮影：宮内 勝

クリスマスに贈る、 おかしくも 切ないロマンス

国内外で活躍する劇作家・演出家の鄭義信と
愛知を代表する役者・佳梯かこの代表作
『杏仁豆腐のココロ』が13年ぶりに復活

2000年のクリスマス、一夜限りのスペシャル企画として名古屋で発表された『杏仁豆腐のココロ』は瞬く間に反響を呼び、翌年2月にすぐ再演。2002年には東京でも好評を博した傑作が愛知に帰ってきました！ 作・演出の鄭義信さん率いるユニット「海のサーカス」の公演として13年ぶりによみがえる舞台。実現までの経緯を鄭さんに尋ねました。

「13年ぶりなんです、自分でもそんな久しぶりなのかと驚いています。その間、香港で香港の俳優を使って上演したり、オーストラリア、台湾で『杏仁豆腐のココロ』の戯曲が出版されたり、僕以外の方が演出されたり（もちろん俳優も別の方が演じてます）……等々の経緯があったので、それほど時を経ているとは思ってもみませんでした。昨年、偶然、佳梯かこちゃん」と『杏仁豆腐のココロ』を他の人の演出で上演している舞台をいっしょに見に行く機会があつて、その時、『やっぱり、またやりたいね』と盛り上がりました。

僕たちにとつては、思い出多い舞台なんです。それこそ、何十回も上演を重ねてきましたから、愛着も強いんです。彼女にとつても、僕にとつても、転機となつた作品でもありますから。

今年の12月にちょうどスケジュールが空いたので、『やるかあ』つて気持ちめらめらと燃えあがつて、かこちゃんに連絡したら、かこちゃんもめらめらと『やるよお』となつて、SET（※1）の制作の鈴木庸子さんもプロデュースを引き受けてくれて、なんだかんとん拍子でまた上演することになりました」



キャストは、鄭さんの話にも出てきたとおり、初演の立役者であり海のサーカスのメンバーでもある佳梯かこさんが統投する一方、サモ・アリナンスのメンバーで外部でも活躍著しい久ヶ沢徹さんが新加入。ふたりは、小夜子と達郎という夫婦役を務める。「それまで達郎役をつとめてくれていた宇佐美亨くん（※2）はサラリーマンと俳優を兼業していて、13年前もずいぶん無理をしながら公演を続けてくれたんです。だけど、今は課長さんになられたとかで、もう引つ張り出すことは難しくなってきました。

久ヶ沢さんとは以前からの知り合いだったのですが、いままでいっしょに舞台をやつたことはないんです。でも、



彼の芝居を見ていて、達郎役にぴつたりだなと思つて、打診したところ、ふたつ返事で引き受けてくれました。清潔感のあるスマートな俳優さんなのですが、内面に激しいものも感じさせるので、後半戦の達郎をどう演じてくれるのか、今から楽しみです。時はクリスマスイブ、古い一軒家で繰り広げられる物語。華やかな外の気配とは裏腹に、部屋の中は段ボールだらけで雑然としています。小夜子と達郎は離婚が決まり、引つ越し準備中。でも夫婦の会話は妙に軽やかで、おかしい。しかし片付けが進むうち、互いの心情が明らかに……。チエーホフの戯曲『三人姉妹』からの引用も巧みに織り交ぜ、濃密な二人芝居は喜劇と悲劇を行ったり来たり。そんな舞台は、時を経て変化するのでしょうか？

「細かいギャグは稽古をやりながら変更していくつもりですが、大筋に手を加えるつもりはないです。久ヶ沢さんを迎えて、また新作に挑む気持ちで、一から三人でつくっていききたいと思つています」と鄭さん。

なお、長久手公演は全国ツアーの大千秋楽にして、クリスマス当日が本番。ムード最高潮の中、笑えて泣けて、しみじみと染み入る人間ドラマが幕を開けます！

【注】
※1：東京の劇団「スーパーエキセントリックシアター」の略称
※2：名古屋の「劇団人工子宮」所属の俳優

作・演出プロフィール

鄭 義信
(ちよん・ういしん)



1957年、兵庫県出身。横浜放送映画専門学校(現・日本映画学校)美術科卒業後、松竹大船撮影所で美術助手を経て、劇団黒テントに入団。その後、東京の劇団「新宿梁山泊」の旗揚げに参加。「千年の孤独」「映像都市(チネチッタ)」「人魚伝説」「青き美しきアジア」などの傑作を次々と発表する。1993年には「ザ・寺山」で第38回岸田國士演劇賞受賞。また「月はどっちに出ている」「愛を乞うひと」の映画脚本でも数々の賞を受賞している。1992年からは自身のユニット「海のサーカス」を立ち上げる一方、外部でも小劇場からミュージカルまで幅広く活躍。2008年の新国立劇場プロデュースによる日韓合同公演「焼き肉ドラゴン」では演劇賞7冠に輝いた。2014年、紫綬褒章受章。

出演者プロフィール

久ヶ沢 徹
(くがさわとおる)



1962年、福井県出身。1992年、東京の劇団「サモ・アリナンス」の旗揚げに参加。以降、ほぼ全作品に出演する。また、G2や小林賢太郎(ラーメンズ)、松尾スズキ、土田英生ほかの作品にも出演。NHK「八重の桜」「ちりとてちん」、映画「感染列島」など映像でも活躍する。2012年には自らプロデュースする「久ヶ沢牛乳」を始動。50歳を過ぎて、ますます精力的だ。

佳梯 かこ
(かはし・かこ)



1957年、名古屋市出身。プロジェクト・ナビの看板女優として名古屋を拠点に活躍。同劇団解散後、フリーに。現在は演劇ユニット「海のサーカス」のメンバーでもある。代表作に「寿歌」「想稿・銀河鉄道の夜」など北村想作品はもちろん、MODE「旅路の果て」、OMSプロデュース「ここからは遠い国」ほか。「杏仁豆腐のココロ」では、名古屋と関西で演劇賞に輝いた。

▶ストーリー

舞台は、クリスマスを迎える古い一軒家の一室。小夜子と達郎は、山積みの段ボールに囲まれて引つ越しの準備をしている。ふたりは7年前に結婚。親からチンドン屋を継いだ小夜子は家計のために弁当屋で働き、3年前に会社を辞めた達郎は今では専業主夫。いつまでも就職しない夫に業を煮やした小夜子は、達郎との離婚を決意したのだった。そうして別れを前に部屋を片づけながら他愛もない会話をするふたりだが、過去の出来事を振り返るうち、押し殺してきた想いが少しずつ露わになっていく――。



海のサーカス×スーパーエキセントリックシアター
『杏仁豆腐のココロ』

12月25日(金)19:00
風のホール
前売・当日：一般2,500円 25歳以下1,000円
グループ割：ペア4,000円 3名5,100円 4名6,000円
フレンズ会員は一律1割引(前売のみ)
※全席指定
※未就学児入場不可



フィンランド語で「無限の」という意味を持つラヤトン(Rajaton)。その名のとおり伝承歌、クラシック、ポップスと幅広いジャンルを歌いこなし、8つのゴールド・レコードを獲得するなど、フィンランドの国民的アカペラグループとして人気を誇っています。ラヤトンの特徴は「自然と共鳴するハーモニー」。真冬の風、きらめく星のまたたき、湖のさざなみ、木々のささやき…、そんなフィンランドの雄大な自然の音たちを、深く澄んだ歌声で表現します。11月7日(土)のプレイベントと公演当日、館内は北欧雑貨マーケットやオーナメント手作りワークショップ、それにクリスマスミュージックで、北欧クリスマススムード一色に。ひと足先に北欧のクリスマスを丸ごと楽しみましょう！

**ラヤトンと北欧のクリスマス
～ひと足早いアカペラLIVEのプレゼント～**

11月22日(日)16:00
森のホール
前売:一般3,000円 フレンズ会員2,000円 学生1,500円
当日:一般・フレンズ会員3,000円 学生2,000円
※全席指定 ※未就学児入場不可

**大切な人とおしゃやれに
クリスマス気分**

名門シベリウス・アカデミーから生まれた
北欧最高峰のアカペラグループRajaton(ラヤトン)。
トナカイとオーロラの国から、
心ぬくもる音楽をお届けします。



**関連企画
北欧のクリスマス支度**
寒く厳しい北欧の冬、誰もが待ち遠しいのがクリスマス！
街ではクリスマスマーケットが開かれ、クリスマスミュージックが流れ、人々はお祝いの準備を始めます。
文化の家には、そんな北欧のクリスマスに欠かせないものたちが大集合！北欧スタイルのクリスマスの過ごし方を体験してみませんか？

1. 映画+アフタートークで自然と共鳴するラヤトンのハーモニーを感じよう！



ラヤトンが楽曲提供したドキュメンタリー映画「森聞き」を上映。映画監督・絵本「無限の森へ」編集、柴田昌平氏によるアフタートーク付き。

11月7日(土)10:00～
※当日先着順100名
光のホール



映画「森聞き」
柴田 昌平(しばた・しょうへい)
映像作家。初監督作品「ひめゆり」(2007年)は、キネマ旬報ベストテン文化映画1位など8冠を受賞。代表作に、NHKスペシャル「世界山紀行 フィンランド・森・妖精との対話」(独・ワールドメディアフェスティバル銀賞受賞)他。日本向けに特別にセレクトされたラヤトンのベストアルバムCDと絵本の作品「ラヤトン 無限の森へ～フィンランド・アカペラの響き」の編集も手がける。

©プロダクション・エイシア

**2. 北欧布で小鳥の
オーナメントを作ろう！**



北欧雑貨の基本は、自然の素材を使って手作りすること。ながくてアートフェスティバルでおなじみ「琴ちゃん」を北欧柄の布で作ってドングリの枝にかければ、ぬくもりある北欧流クリスマスオーナメントのできあがり！

11月7日(土)10:30～、13:30～、15:00～
東ガレリア(風のホール前)
定員:各回12組(小学生以下は保護者同伴)
※要事前申込、事前申込が定員に達しない場合当日受付可
参加費:1,000円
所要時間:約1時間
申込開始:10月3日(土)から文化の家事務室窓口
で受付開始(電話受付は翌日から)

4. 心ときめく北欧のクリスマスマーケット



オシャレでかわいい北欧雑貨や、クリスマスプレゼントにぴったりの品が並びます。心躍るクリスマス気分を楽しみましょう。
11月7日(土)10:00～
東ガレリア(風のホール前)
11月22日(日)11:00～
アトリウム(森のホール前)
※パンの販売は11月22日のみ

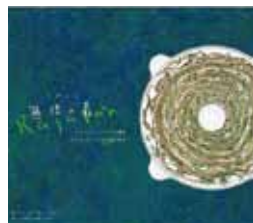
**3. フィンランドの妖精「トントウ」の
オーナメントを作ろう！**



サンタクロースのお手伝いをする小さな妖精「トントウ」はフィンランドのクリスマスに欠かせない存在です。手作りオーナメントを飾り付ければクリスマス気分が盛り上がること間違いなし！

11月22日(日)11:00～、13:00～、15:00～
東ガレリア(風のホール前)
定員:各回 25人
※要事前申込
所要時間:約20分
参加費:300円
申込開始:10月3日(土)から文化の家事務室
窓口で受付開始(電話受付は翌日から)

5. ラヤトンのベストアルバムCD付き絵本を販売



ラヤトンの世界観が絵本に！曲のイメージに合わせた神秘的なイラストが満載。飾っておいても素敵なアルバムです。
11月7日(土)10:00～
東ガレリア(風のホール前)
11月22日(日)11:00～
アトリウム(森のホール前)

この冬公開される007シリーズ新作「スペクター」のサウンドトラック製作にもかわり、話題沸騰中のタンブッコ。グラミー賞ノミネート通算4回、国際交流基金賞受賞、テレビ朝日「題名のない音楽会」に出演など、世界各地で反響を呼んできたタンブッコが、2年ぶりの来日ツアーを行います。パツハからコンテンポラリーまで、驚くほど幅広いレパートリーを持つ彼らは、常に打楽器の新たな可能性を追求し、聴衆を新しい地平へと案内します。

そして注目的は、なんと世界初演の作品を含む特別なプログラム。タンブッコのリーダーであるリカルドが長久手公演のために書き下ろした「ガムラン ジェゴッグとパーカッションのための新作」を、地元愛知で活躍するガムラングループ「スカルサクラ」との豪華共演でお披露目します。また、世界的作曲家ステイブ・ライヒがスカルサクラのために作曲し、今やタンブッコの重要なレパートリーとして世界中で演奏されている曲「ナゴヤ・マリンバ」もご当地に帰ってきます！

「ガムラン ジェゴッグとパーカッションのための新作」、世界初演が実現するまでの秘エピソード



リカルドが名古屋音楽大学を訪れた時の様子

この曲の誕生は、リカルドが前回来日の折に楽器借用のため名古屋音楽大学を訪れ、スカルサクラのガムラン・ジェゴッグ演奏を聴いたことから始まりました。インドネシアの楽器「ガムラン」は世界中の作曲家に影響を与え、本公演で演奏される「ナゴヤ・マリンバ」を作曲したステイブ・ライヒもその一人です。リカルド自身も以前よりガムラン・ジェゴッグには見識が高く、また、ライヒの曲も多く演奏するため、勉強もしていました。そもそも「ナゴヤ・マリンバ」は、今回演奏するスカルサクラが、しらかわホール(名古屋)のこけら落としコンサートのためライヒに委嘱したのですが、当初はガムラン楽曲を依頼していました。しかし、ライヒは「ガムランをととても畏怖しており、神聖な楽器を侵すような恐ろしいことは自分にはできない」と返答。結果、ガムランからインスパイアされたマリンバ2台の曲となりました。このエピソードをリカルドに話したところ、「ライヒの考えや気持ちもとても大切だとは思いますが、僕自身はそうではなく、ガムランを畏怖しているからこそ、その楽器を取り入れ、新たな息を入れ、魅力を伝えていくことをしてみたい」「次回の来日の際には、ガムラン・ジェゴッグを入れた作曲するので一緒に演奏しよう！」と語り、今回実現することに。なお、この新曲にはメキシコと日本、インドネシアの友好を深める想いも込められています。



©Takashi Arai 写真:国際交流基金提供

**タンブッコ
パーカッション アンサンブル コンサート**

10月10日(土)15:00
森のホール
出演:タンブッコ=リカルド・ガヤルド(アーティストック・ディレクター)
アルフレッド・プリンガス/ミゲル・ゴンザレス/ラウル・トウドン/他
前売:一般3,000円 フレンズ会員2,500円 学生1,500円
当日:一般・フレンズ会員3,500円 学生2,000円
※全席自由 ※未就学児入場不可

長久手のための新曲、世界初演！
世界を震わす「打」の魔術。打つ、鳴らす——音楽の原点をすばらしい表現に変え、世界中を魅了した驚異の打楽器アンサンブル、タンブッコ。彼らがメキシコからやってきます！

突撃!コンサート!!

記念すべき10年目を迎えた「であーと」は、Cocotte弦楽四重奏団と一緒に長久手市内の3つの中学校を訪問しました。その中でも6/18の長久手市立北中学校での様子をお届けします。

取材・文:青山美央子(創造スタッフ)

“であーと”とは…?

「出会う」+「アート」=であーと!

「であーと」は、長久手市文化の家と関わるアーティストたちが学校でパフォーマンスを行う教育プログラムです。



リハーサル後、中学1年生6クラスの音楽の授業でCocotte弦楽四重奏団が演奏しました。今回のテーマはカルテットにとってスタンダードな曲と言われるハイドンの『皇帝』。全4楽章のうち、今回は第1、第2、第4楽章について学びました。いざ、演奏が始まると生徒たちは演奏家の真摯さに吸い込まれたような真剣な表情になり、微動だにせず。生徒にはあえて楽章ごとに、何を感じ、またそれぞれの楽器の音色の特性についてどう考えるかを二つ二つ聞き、感受性を鍛える授業となっていました。第2楽章では事前に合唱として練習していたこの楽章の主題である『オーストリア国家及び皇帝を讃える歌』(神よ、皇帝フランツを守りたまえ)を印刷された皇帝フランツに向かって、その当時のオーストリア国民になったかのように全員で歌いました。最後の質問コーナーでは「何故ミスをしたのですか?」「弦が切れることは?」「何故、演奏中に椅子からお尻を浮かせるのですか?」など、(らしさを感じ(率直な疑問を投げ、時間が取れる時は8時間くらい、とにかくよく練習するからですよ!)との回答には驚きによる歓声が上がっていました。舞台の裏には見えない努力があるのです。

アトリウムゲリラ

お昼休みには学校の中心にある広場のような空間、アトリウムでゲリラ演奏!学年、性別、生徒、大人関係なく、皆が音に惹かれ、音を楽しみ、聴衆と奏者の想いが相互に高まり、アトリウム場内がひとつとなって熱気が渦を巻いていました。単なるイベントなのでなくお祭りに近いような真剣さと感動、まさにアトリウムが日常から非日常の空間へと変わった瞬間でした。

給食ゲリラ

給食ゲリラでは、馴染みある軽快なテンポの曲を演奏しながら、全学年全クラスの教室を回っていくのですが、奏者と聴衆との間は30センチ未満!その距離が、ちょっぴり遠いと感じていた音楽との距離までグッと縮めてくれたのではないのでしょうか?生徒の笑顔の連鎖を思い出すだけで、ほっこりいたします。

-Interview-

中学校での演奏を終えて、出演者の平光真彌さんにお話を伺いました。

「クラシックを知らない中学1年生にハイドンの皇帝で勝負する、というのは冒険だったと思います。特に内容がコアなものなので、ちゃんと反応してくれるかな、というドキドキ感がありました。子どもたちの反応をみて、なにか引っかかってくれる場所があればそこを掴んで、その掴んだものを中心に広げていくような感じでやりましたね。授業はハイドンを知ってもらって感じてもらい、ゲリラはサプライズ要素を強くというメリハリをつけ

たのでやりやすかったです。ゲリラに慣れてきたところを見ると、ゲリラという非日常が楽しみのひとつになっているのだな、と感じました。アウトリーチでも、ゲリラでも、普通の演奏でも、なんでも、生活のなかにあふれている音楽になっていくのが、自分のおつきな目標ではあるので、ああいうの子どもたちが驚きながらも自然体で受け入れてくれていたことがものすごく嬉しかったです。」



平光 真彌
(ひらみつ・しんや)



笑って観ていると、背中からグサリ

いかにも主婦、といった格好をして前説を行う男の役者。彼(彼女?)は「はじめます」のひと言で、ゆるりと物語に導入します。主に上演中の注意点を観客に伝える前説ですが、業務連絡的なものも多く、前説が始まった途端、客席の和やかな空気に「お芝居が始まるぞ!」と緊張感が走ったりします。これが良い方向に働くこともありませんが、作風によっては逆効果だったりもします。開演前のデリケートな空気をうまく誘導して物語にすつと入らせてくれる、ハイバイの前説の秀逸さには毎度「おお」と圧倒されます。素舞台上に置かれた筒状のものを広げていく男女2人。さらに家具を置いて部屋になる。ひきこもりである主人公が生きている世界です。主人公は、彼を心配しているながらも奔放な母と、「兄にやさしくできるのは私だけ」と義務感を持ちつつ彼にとって唯一の理解者である妹との3人暮らし。父親は単身赴任で不在、というどこにでもありそうな家庭。だからこそ親近感を感じ、不意に痛いところを突かれたりもします。特に印象に残っているのが、「出張お兄さん」と呼ばれるひきこもりを助ける人たちの前で、母と妹が喧嘩をするシーン。「お兄ちゃんの外に出なければいけないのか」と、母に訴える妹が次第に母の趣味をも責め立てていく。母からすれば息子を思っただけの事を否定され、他人の前で自分の趣味まで否定され、ついむきになって怒ってしまう。本気ゆえのパカパカしさに笑いながらも、まさしくそんな喧嘩を私自身もしていた



ハイバイ
「ヒッキー・カンクントルネード」
7月16日・17日、風のホールにて公演



んだとハッと、母に申し訳ないことをしていたなと思つて、キュッと胸をしめつけられました。ハイバイの作品はその連続で、呑気に笑つてのけ反つたら、背中に鋭い刃物が刺さるような精神的な衝撃がところどころに散りばめられています。その刃物を一手に引き受けている、あるいは耐性がないゆえに傷ついてしまっているのが主人公で、彼に対してどこか一線を引いてしまっている私たちも、根本的には変わらないのだと感じさせられました。笑いながらも自分自身と葛藤する、非常に心に残る作品でした。

(創造スタッフ・藤島えり子)

/// INFORMATION ///

文化の家は、平成10年に開館して今年18年目を迎えますが、ここ数年、設備全般の老朽化が目立つようになってまいりました。そこで、今後とも安全かつ快適な会館の機能を維持するため、休館を伴う大規模な改修工事を実施します。工事実施期間は、平成29年2月1日～平成29年6月30日を予定しています。また、設備の改修工事に合わせ、今までに利用者の方々からいただいたご意見も踏まえ、利便性向上となるような工事も計画しております。（工事内容の詳細が決まりましたら、文化の家ホームページでお知らせします。）



文化の家大規模改修工事のお知らせ

（平成29年2月～6月）

/// GUIDANCE ///

森のホールは、文化の家のホールで、一番大きな劇場です。コンサートから演劇、舞踊、式典、集会まで幅広い目的で利用ができます。最大客席数は819席で、客席は舞台を取り囲むような馬蹄形になっています。ところで、客席の数を増やしたり、減らしたりすることができ、それはご存知ですか。例えば、オーケストラ公演や演劇公演を行う際に舞台を広く使いたい！ということがあった場合、客席数を減らして舞台を広くすることが出来ます。では、どのように座席数を増減しているのでしょうか。秘密は客席にあります。なんと客席の床自体が180度回転して反対側にある舞台の床へ転換することができ、こうすることで客席数を減らすことができます。逆に舞台を回転させて、客席数を増やすこともできます。他にもオーケストラピットを作つて、オペラや演劇の生演奏ができるようにしたり、平土間形式で舞台を広くしてダンスなどを行ったりすることもできます。



最大819席の客席



演劇「桜の森の満開の下」から



吹奏楽フェスティバルから

知っていますか？文化の家の使い方

【第1回 森のホール】

4月から新しい創造スタッフを迎えて総勢7人になりました！文化の家で活躍する創造スタッフにぜひ会いに来てください！

創造スタッフ紹介

創造スタッフとは…？
高い芸術性、卓越した専門性に基づく豊富な知識や優れた技能、技術を生かし、文化の家職員やスタッフ、関係者などと連携を図りながら、文化の家の創造的事業の企画や実施、運営に携わります。

コレ、聞いてみました！

①創造スタッフとしての抱負 ②長久手のおすすめスポット ③好きなアーティスト

Music staff
鈴木 豊大
(打楽器)



- ①演奏をするにあたって小さいお子様から高齢者の方まで楽しめる音楽を提供していきたいです。又、ただ聞いていただくだけではなく、参加型のプログラムを取り入れていきたいです。
- ②モリコロパークのアイススケートリンクです。
- ③情熱大陸で有名な葉加瀬太郎です。

Music staff
石川 貴憲
(サクソ)



- ①文化の家は僕を勢いつかせてくれる場所です！「創造スタッフ」という仕事が出来てくれる、様々な人や物との関係、機会を大切にしながら、皆さんといい時間を共有したいなと思います。
- ②JA2階、落ち着いた佇まいのリーズナブルで美味しい定食屋さん！
- ③サクソ奏者田中靖人先生。変化に富んだ演奏は本当に「アーティスト」だと尊敬しています。

Music staff
井上 陽葉
(作曲・ピアノ)



- ①創造スタッフとして、色んな”楽しい”や”面白い”をみなさんにお伝えできればと思っています。音楽を身近に感じてもらえるように頑張りたいです。
- ②リリモから見えるはなみずき通りの噴水が好きです。
- ③浜渦正志さんという作曲家が大好きです。

Art staff
橋 寛憲
(造形)



- ①美術系創造スタッフ二人を除いて、すべての創造スタッフが新しい方になりました。新メンバーの皆さんの知恵と力を借りて、どこもやっていない面白いことを成し遂げられるように頑張りたいと思います。
- ②香流川沿いに自転車でんびりと散策するのがおすすめです。
- ③小学生の頃から聖飢魔IIを好んで聴いています。RXも好きです。

Art staff
小林 大地
(造形)



- ①イベントや展示において、お客様にいかにも非日常を体験して楽しんでいただけるか、というところに重点を置いて、製作に取り組んでいます。疑似体験ではなく、本物の感動体験を提供できるよう、今年もがんばります。
- ②タカヨシメキシコ美術館。長久手内にこんな素敵な異世界が！
- ③音楽の父、バッハ。ただひたすらに崇拜しています。

Information staff
藤島 えり子
(演劇/俳優)



- ①情報系スタッフは今年が初。試行錯誤しながら取り組んでいます。今年で途絶えぬよう(笑)、長久手市文化の家とお客様の橋渡しになればと思っています。もっと文化の家が愛してもらえますように。
- ②長久手温泉ござらっせ。行く時には5時間くらいゆっくりします。
- ③しっとりした作品をつくる方が好きです。美術も演劇も音楽も。

Information staff
青山 美央子
(音楽/マリンバ奏者)



- ①小さいお子様から大人まで、皆さまが心揺さぶられる「文化の家」を軸とした情報の発信(ライフスタイルの提案!?)と、独自の視点からの舞台の楽しみ方を発信していきたいと思っています。
- ②県道233号線から春になると見えてきます菜の花畑です。
- ③パウル・クレー 彼のリズムカルな絵画が大好きです。



名物! 第1回 **ながくて人**
伊東江利子 * Eriko Ito

このコーナーでは長久手市在住のアーティストを紹介します!

記念すべき第1回目は、長久手で生まれ育ち、長久手をこよなく愛する、ぬいぐるみ作家の伊東江利子さんです。普段はテディベアなどのかわいいぬいぐるみを作っているのですが、なんとこの方は「長久手市広報ナビゲーター(愛称:ながなびい)」に就任しているくまのぬいぐるみ「クーティングナー」の生みの親

でもあるんです。そんな伊東さんは、北は北海道、南は九州まで全国のテディベア作家さんと連絡を取り合っ文化の家でテディベア展を行っています。なんと、今までに18回も行ったこのテディベア展、次回の開催をお楽しみに!

ながくてフォトアルバム

警固祭り

長久手には、夏より“あつい”秋の日があります。空に響く火縄銃の、火薬のにおいと火の“熱さ”奉納される棒の手の力強い“熱気”勇壮な隊列を一目見ようとする人混みの“暑さ”。今年は10月11日(日)に岩作地区で行われます。脈々と受け継がれる長久手の文化にひたる“あつい”一日を、ぜひ体験してください。



文化の家

影は、光がつくる作品です。同じものは、二度とみることできません。文化の家の中にも、日の光が作るたくさんの作品が展示されます。特に春と秋のある時期の、綺麗な空の日は見物です。どうぞ見にいらしてください。



長久手市文化の家 情報誌

ハレとケ

創刊号
2015年10月

発行:長久手市文化の家

印刷:株式会社 スタンパール社

デザイン:宮岡瑞樹

編集:小島祐末子(家鴨の編集舎)

中根秀彰/野田悠子(長久手市文化の家)

編集後記

文化の家情報誌が「ハレとケ」として生まれ変わりました!ハレというのは非日常、ケというのは日常のことを指しています。アトリビングでの稽古の成果をホールで発表する、ケからハレへという文化の家のコンセプトを盛り込んだ情報誌にしたいという願いからこの名前に決まりました。今までのレポート中心のものから、文化の家スタッフの伝えたい「ハレとケ」がぎゅっと詰まった内容、いかがでしたでしょうか?お読みいただいた全ての方が文化の家にいきたくなるような情報誌「ハレとケ」を目指してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします!(「ハレとケ」担当・野田悠子)

クーティングナーの教えて、生田さん!



長久手市のマスコットキャラクター、クーティングナーが文化の家のアレコレをスタッフに質問するコーナー。今回は、クラシックコンサートについてのギモンを生田さんに質問してみました。



文化の家 事業係長 生田さん

Q カーテンコールのようなものです。指揮者は、コンサートの時間の全責任を負っていますので、お客様へのお礼の意味も込めて、何度も出入りします。これにどう関わるかも本来は自由です。さっさと帰るもよし、スタンディング・オーベーションもよし、手が痛くなったら休むもよし。

A 演奏がお終わったあと、指揮者が出て行ったあとも拍手を続けるのはどうして?

Q 演奏会に行くときの服装はどのくらい気にしたらいいの?

A 基本的にはフリーです。どんなに着飾っても、TシャツでもOKです。でも、たまには普段よりちょっと服装に気を遣ってみるのも、コンサートへのワクワク感につながるかもしれません。

Q クラシックの作品は1曲でも、いくつかの楽章に分かれているものが多く、すべて終わってから拍手する、というのが通例です。

A 一つの物語がいくつかの章に分かれていると考えて結構です。しかし、クラシックの本場のウインやベルリンでのコンサートでは、楽章の間でも拍手が起きていることがあります。本当は拍手したいときにするのが理想ですね。律儀な日本では難しいかもしれませんが...

Q クラシックの作品は1曲でも、いくつかの楽章に分かれているものが多く、すべて終わってから拍手する、というのが通例です。

A 演奏会に行くときの服装はどのくらい気にしたらいいの?

Q 演奏と演奏の間に拍手をしない時間があるのはどうして?

A 演奏と演奏の間に拍手をしない時間があるのはどうして?



コンサートを味わう、余韻まで味わう

リレー連載 ハレとケのあわい vol.1

生田 創 (文化の家 事業係長)

最近若いスタッフとクラシックのコンサートへたびたび行っています。よく「どうやってコンサートに臨めばいいか」と訊ねられます。基本的には、最低限のマナー(携帯切つてね、拍手は遅めのほうが通だよ、など)を知っておけば、自由に聴いてもらえるのではないかと思っています。「じつと聴いているのは堅苦しい」と言われますが、クラシック鑑賞は読書に似ていると思っています。つまり、自分の心や脳を解放する、とても言いましようか、身体を動かしたり、声を出したりしなくてもよいのです。でも何より楽しいのは、コンサート後に美味しいお店で、コンサートの話題でワイワイ盛り上がることです。演奏の内容だけでなく、「本番中笑えてきたとき演奏者はどう対処するのか?」「演奏後の指揮者の出ハケは2回くらいの方がお互いのためだ!」など、思い思いの感想が自然に飛び交います。そう、これが何より仲間とコンサートへ行く醍醐味ではないですか!おっと、料理もオーダーストップ、気がつけばもう時計の針が閉じようとしています!五感で吸収したエネルギーを明日のワクワクへつなげよう!

フレンズ会員募集中!

～フレンズに入ってもっとお得に楽しもう!～

〈フレンズ会員とは?〉

文化の家ではオリジナル企画をはじめ、音楽・演劇・伝統芸能等、いろいろな自主事業を行っています。
フレンズ会員になると、チケットの先行発売や割引等のさまざまな特典があります。



～フレンズ会員特典～

- ①文化の家自主事業公演チケットの割引
- ②文化の家自主事業公演チケットの先行発売
- ③機関紙、情報誌、事業案内などの刊行物郵送
- ④フレンズが行う文化事業、交流事業への参加

- [会費] 個人会員 年額1,500円(10月1日以降に入金の場合は1,000円)
 家族会員 年額1,000円(機関紙・事業案内等の郵送はありません)
 法人・グループ会員 年額15,000円(10月1日以降に入金の場合は10,000円)
- [有効期限] 入会日から最初に訪れる3月31日まで。
- [入会・更新方法] 文化の家1F事務室へお申し込み下さい。便利な郵便振替もご用意。
 詳しくはお問い合わせ下さい。

※記載された内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

●今後の主な公演のご案内

こんにちは、フェリックス!	小さい子どもから大人まで楽しめる本格クラシック公演。午前の部は0歳から入場できます。	■10/28(水)①11:00～(完売)②15:00～ 音楽室 料 金：大人500円、子ども(小学生以下)300円 ※全席自由 ※①0歳から入場可、②2歳以下入場不可
劇団コーロ「ハンナのかばん」	アウシュビッツから東京に届いた少女のかばん。平和な時代に育った兄妹とともに戦争を追体験する作品です。	■11/8(日)18:00 森のホール 料 金：前売 フレンズ会員1,800円、一般2,000円、高校生以下1,500円 当日 フレンズ会員・一般2,500円 高校生以下1,800円 ※全席自由 ※未就学児入場不可
名演への招待シリーズ15 メナヘム・プレスラー ピアノ・リサイタル	現在92歳。2014年、ベルリンフィルと二度共演し、スタンディング・オベーションの嵐を巻き起こした“奇跡のピアニスト”が長久手に登場。	■11/15(日)15:00 森のホール 料 金：前売 フレンズ会員3,500円、一般4,000円、学生2,500円 当日 フレンズ会員・一般4,500円、学生3,000円 ※全席指定 ※未就学児入場不可
愛知県立芸術大学オペラ公演 ゴジ・ファン・トゥッテ	愛知県立芸術大学の総力を結集してお届けする本格的なオペラ公演です。	■12/5(土)・6(日)14:00 森のホール 料 金：A席2,500円、B席1,500円 ※全席指定 ※未就学児入場不可 ★10月発売予定
フレンズ企画Part.34 デュエットの世界にようこそ ～お茶と楽しいおしゃべりを～	地元で活躍する声楽家 毛利夫妻が贈る歌のプレゼント。デュエットの世界と演奏後のティーパーティをお楽しみ下さい。	■12/12(土)14:00 舞踊室 料 金：フレンズ会員1,200円(会員本人のみ)、一般1,500円 ※全席自由 ※未就学児入場不可 発売日：フレンズ会員10/3(土)、一般10/10(土) ★10月発売予定
創造スタッフクリスマスコンサート	文化の家創造スタッフによる楽しいクリスマスコンサート	■12/19(土)時間未定 森のホール ★12月整理券配布予定
長久手フィルハーモニー 管弦楽団第24回定期演奏会	長久手フィル創立15周年を記念して、指揮の松井慶太氏ほか豪華ソリストをお迎えし、マーラーの大曲に挑戦します。	■12/20(日)16:00 森のホール 料 金：フレンズ会員900円、一般1,000円 ※全席指定 ※未就学児入場不可
JAZZ長久手 ～やっぱりジャズはイイ! 佐藤允彦(ピアノ)、峰厚介(テナーサクソ)	「大人のジャズ」の魅力を大切にしながらも、身近に本物のジャズを楽しむ企画。	■2/19(金)19:00 風のホール 料 金：フレンズ会員1,800円(前売のみ)、一般2,000円、学生1,000円 ※全席自由 ※未就学児入場不可 ★12月発売予定
長久手市合唱団 ニューセンチュリーコーラス Nagakute第18回定期演奏会	文化の家開館と同時に結成した市合唱団による定期演奏会です。	■2/21(日)時間未定 森のホール 料 金：前売 フレンズ会員800円、一般1,000円 当日 フレンズ会員・一般1,200円 ★12月発売予定
長久手演劇王国Vol.16 日本劇作家協会東海支部 プロデュース事業	作家が自らが演じる文士劇、リレー形式で書かれた戯曲対決、俳優賞の発表、トークイベントなど多彩な内容でおくる演劇イベント。	■2/27(土)、28(日)時間未定 風のホールほか 料金未定 ※全席自由 ※未就学児入場不可 ★12月発売予定
長久手市劇団 座☆NAGAKUTE第28回公演	市劇団「座☆NAGAKUTE」による定期公演です。	■3/19(土)、20(日)時間未定 風のホール 料 金：前売 フレンズ会員1,000円、一般1,200円、高校生以下800円 当日 フレンズ会員・一般1,500円、学生1,000円 ※全席自由 ※未就学児入場不可 ★12月発売予定



長久手市文化の家

〒480-1166 愛知県長久手市野田農 201番地

お問合せ tel.0561-61-3411

<HP> http://www.city.nagakute.lg.jp/bunka/ct_bunka_ie.html

<スタッフ日誌> <http://bunkanoie.blog.fc2.com/> 長久手市文化の家 @bunkanoie

交通アクセス

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分
- 地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス愛知医科大学病院行きの一部(4番乗り場)または、菱野団地行きの一部(5番乗り場)、長久手文化の家北下車、徒歩4分
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、長久手文化の家北下車、徒歩4分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分、名古屋瀬戸道路長久手インターから車で10分



※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。